



路線バス復活物語

序章

みんなで考える「公共交通」



しゅっぱつしんこう!!

朝のJR千歳駅前、通勤や通学で利用する方を乗せたバスがつぎつぎに到着します。

バスを降りた方は、鉄道（JR）やほかのバスに乗り換えて、または歩いて、それぞれの会社や学校に向かいます。

朝夕のほか、自家用車を持たない方などにとって、バスは買い物や病院に行くための「日常の足」として欠かせない大切なものです。

反対に、自家用車を持つ方や徒歩で通勤・通学する方など、バスをほとんど利用しない方もたくさんいます。

広報ちとせでは、平成18年8月号と平成20年12月号で「バスがなくなる日」を特集し、バスの厳しい現状などを紹介しました。

その後、状況はどのように変化したのでしょうか…。

今月の特集では、バスを取り巻く状況の変化と新しい取組を紹介합니다。

日常の生活でバスを利用する方も、利用しない方も、「公共交通」としてのバスのあり方を考えてみませんか？

